



Amir Tsarfati

[ウィークリー・ニュースレター]
— 中東情勢とミニストリーのアップデート —
2021年1月28日（日本時間 1/29 午前1時 配信）



テルアビブから皆さまにご挨拶いたします。

私はホテルの小さな一室で足止め状態にあります。空港閉鎖の30分前に、アラブ首長国連邦から、イスラエルに到着できたことを主に感謝します。検疫期間が終わるまで、この小部屋で隔離生活です。その後ようやく帰宅し、恋しい家族と再会できるようになります。素晴らしい妻、美しい子供たちを抱きしめて「ただいま」を言うのが待ちきれません。

今朝のニュースレターでは、マイク・ゴレイ牧師が、非常に忙しかった「1月のハイライト」を要約したミニストリーの最新情報をお届けします。とは言え、先週ここ中東では、ニュースになる動きがいくつか見られました。マイク牧師に引き継ぐ前に、最近の出来事をいくつか書かせてください。

中東について

「アブラハム合意」は、イスラエルと近隣アラブ諸国の間で素晴らしい“平和の収穫”を刈り取り続けています。先週の日曜日イスラエル大使のエイトン・ナエがアラブ首長国連邦の首都アブダビに到着し、臨時の事務所で事務総長を務めました。近いうちに、常設の事務所に駐在する大使が任命されると予想されます。その見返りとして、UAE内閣は、イスラエルのテルアビブに大使館を開設することを承認しました。これは、米国の前大統領府の政策がもたらした好ましい結果のひとつに過ぎません。さらに、イスラエルはモロッコのラバトに連絡事務所を再開し、バーレーンにはすでに大使館が開設されています。間もなく、スーダンのハルツームとテルアビブが互いに大使館を置くという発表があるのではないかと期待されています。中東の平和に向けて築かれたこの偉大な基盤が、バイデン政権によって台無しにされたり、破壊されたりしないことを祈りましょう。

サウジアラビア、リヤドの多くの住民は、真夜中に大きな爆発音で目を覚ましました。当初の推測では、サウジアラビアが運用するアメリカ製のパトリオット・ミサイル防衛システムが首都上空で、弾道ミサイルを迎撃したのではないかといいものでした。すぐに非難の矛先は、サウジ/イエメン国境を越えてミサイルを発射するのが好きな、イランを支持するフーシ派反乱軍に向けられました。しかし今回だけは、彼らは関与



Amir Tsarfati

[ウィークリー・ニュースレター]
— 中東情勢とミニストリーのアップデート —
2021年1月28日（日本時間 1/29 午前1時 配信）

していないと主張しました。「アルウィヤ・アルワード・アルハク」は、比較的無名なイラクのシーア派組織で、その名は「真の約束旅団」と翻訳されます。彼らは、今回の攻撃は彼らの仕業であり、実際には首都をはじめとするいくつかの標的を狙った「ドローン攻撃」だったと述べました。攻撃の理由は、バグダッドで1月21日に発生した双子の自爆テロにサウジアラビアが関与したという言い分による報復行為です。この自爆テロでは少なくとも32人が死亡、110人が負傷しました。しかしこの告発には根拠がありません。最近、この同じ“イランの代理”テロリスト集団が、ドバイの「ブルジュ・ハリファ」ビルに対して“脅しの通告”を発しました。これは世界で最も高い建築物であり、UAEから行った「中東アップデート」配信でも背景に映っていたものです。

イエメンの反政府フーシ派勢力は、リヤド攻撃未遂事件の責任者ではありませんでしたが、彼らの管轄下にはもっと多くの恐ろしい暴力が存在します。その結果、バイデン氏の就任直前に、トランプ政権はフーシ派を「テロ組織」認定してレッテルを貼りました。このレッテルは、商取引や貿易に広範囲にわたる影響を及ぼします。しかし、今、バイデン政権はこの決定を覆すことを計画しているようです。この反政府勢力は、殺人からレイプ、国民の飢餓に至るまで、あらゆる残虐行為に関与しているにも関わらず、新しい米 국무省は、この決定の覆しには人道的理由があると主張しています。イエメンが現代における甚大な人道的危機の一つの源泉であることは事実です。この行動は対症療法であって、根本的な治療ではありません。それは本質的に、残虐行為の加害者がより強くなることを許す一方で、被害者に永遠の苦しみを与えているのです。これは、ソマリアの海賊国家を再び作り上げることとなります。現在、アントニー・ブリンケン 국무長官は、2月26日まで「テロリスト」指定を差し止めていて、それ以降は彼が完全に指定を廃止するものと多くの人が考えています。

リッチ・ミルズ新国連大使は、先週、バイデン政権の「反イスラエル姿勢」を伝えるのに余念がありませんでした。ミルズは「イスラエルへの継続的な友好と支援」という言葉で政策転換を説いて回り、パレスチナ解放機構（PLO）のワシントン事務所を再開することを明らかにしました。これは以前、トランプ政権によって閉鎖されたものです。また、バイデン氏の政策は二国解決案を軸に、これが平和への唯一の道だと確信していることを明らかにしました。

これは、トランプ政権時代に行われていた進展をすべて消し去ることになります。「世紀のディール」として知られ、イスラエルとアラブ諸国によってもてはやされて来たトランプ和平計画は、バイデン政権下で道に迷う可能性が高いです。これは残念です。最終的に交渉の席に座るよう、アラブ諸国からパレスチナに圧力がかけられていたので、和平案が発表された当初、パレスチナが和平案を見ずに拒否したことで、サウジアラビアやエジプトなどの国々は、パレスチナ指導部の非論理的で柔軟性の欠けらもない性質に突然、目が開かれたようでした。即座にアラブ諸国はイスラエルと米国に味方するようになりました。パレスチナが歩み寄るか、多くのアラブ諸国との関係を陰悪にするリスクを冒すか、見える所にも見えない所にもパレスチナには圧力がかけられました。しかし、もしバイデン政権が協定を撤回すれば、圧力は無くなり、すべてが何十年も続いて来たのと同じ膠着状態に戻ります。



Amir Tsarfati

[ウィークリー・ニュースレター]
— 中東情勢とミニストリーのアップデート —
2021年1月28日（日本時間 1/29 午前1時 配信）

ミニストリーについて：マイク・ゴレイ牧師

魅力的な時代！ この1月はビホールド・イスラエルで最も記憶に残る月の一つでした。私たちは、就任式を取り巻く出来事をこの目で見ると、ワシントン D.C. に旅することから始めました。その日の朝、ホワイトハウス前で行われた非常に平和的な、家族に優しい集会を目にしたのは驚きではありませんでした。しかし、その直後に国会議事堂で起こった事を知った時にはショックでした。

私たちは二人とも暴力を見たわけではありましたが、それを目撃した親しい友人がいました。多くの人々が送ろうとしていた良いメッセージが、暗闇に乗っ取られてしまったことを、私たちは悲しんでいます。トランプ政権は、イスラエル、米国経済、宗教の自由、その他多くの政策で素晴らしい遺産を残しました。私たちは今、グローバリズムの「時流」に飛び乗るアメリカで、まったく異なる教義が生きているのを目の当たりにしなければなりません。

DCにいる間、Twitter が私たちに黙らせるために大暴れしていることは明らかでした。1月は、そのソーシャルメディアから正式に「Telegram」（テレグラム）へ移行した月として記憶されます。アプリをダウンロードして、「ツイート」の代わりに「グラム」投稿を見てくださるようお勧めします。Telegram は、短い「音声」を投稿できる機能もあつたりするので、これは歓迎できる乗り換えです。

アミールは、アメリカの首都からカリフォルニアに向かい、カルバリーチャペル・タスティンで行われた2つの礼拝で「あと一息でゴールイン」（※仮邦題）と題した教えを講演しました。それは、私たちがこの「終わりの日」に、何に焦点を合わせるべきかを完全に思い出させてくれました。

また、カルバリーチャペル・チノヒルズの ジャック・ヒブス牧師の「ハプニング・ナウ・シリーズ」に参加することができました。二人は、アメリカの政治情勢を取り巻くいくつかのトピックと、この変わり行く世界で、教会として持つべき確信について話し合いました。私たちは、目の前で同時進行している多くの預言的な出来事を「最前列の席」で見ることができる特権を与えられているので、世界中の牧師や指導者たちが励まされるように祈っています。

カリフォルニアでは、アミールはまた、彼の最新刊「イスラエルと教会」のオーディオブック（朗読版）の録音を完成させました。これには3日間かかりましたが、彼は（最初から最後まで）すべての言葉を一人で読んで収録したので、これは大きな成果でした。

その後、COVID 検査の結果が陰性だったので、アミールは他にイスラエル人スタッフ 2人を伴い、ドバイに向かいました。部屋のバルコニーから壮大な「ビル群のパノラマ」を見下ろす前代未聞の「中東アップデート」を撮影しました。イランから100マイル（約160キロ）足らずのアラビア湾に、イスラエル人が3人。こんなことが可能になるなどと誰が思っていたでしょう！

さらに言えば、この旅の数日前に奇跡的な機会が飛び出しました。私たちのチームは、ドバイでカンファレ



Amir Tsarfati

[ウィークリー・ニュースレター]
— 中東情勢とミニストリーのアップデート —
2021年1月28日（日本時間 1/29 午前1時 配信）

ンスを催すために「神が定めておられる機会」を求めて祈っていたのですが、主はそれを聞いてくださり「ボイス・インターナショナル」を通じ、最高の会場の一つを与えてくださいました。アミールは二つの異なるメッセージを伝えることができ、バーレーン、インド、そして将来の UAE ツアーの扉を開く人脈を構築できました。アミールがドバイに滞在中に講演できないかと、このミニストリーの信者が、私たちに簡単なメールを書いてくれたことがきっかけでした。神は不思議な方法で働かれます。

ドバイは信じられないほどの祝福でしたが、COVID の影響でイスラエル政府から突然の変更があったため、彼と他の 2 人はすぐ帰国するか、UAE に無期限で滞在を強いられるかのリスクが生じました。彼らは現在、ホテルで 2 週間の強制検疫を受けています。隔離されたホテルのインターネット環境が不十分なため、この期間中は「中東アップデート」の予定はありません。また、バリー・スターグナー牧師との「預言座談会」と「Q&A セッション」（どちらも隔週）も延期しました。

今月は新しい番組が加わりました！

私たちの「ヤングアダルト・ディサイプルスシップ（YAD）ミニストリー」は、土曜日に新しい番組「御言葉、世界、そして あなた」で「信仰者の人生における預言」について話し合いました。ぜひこの番組を聞いて、あなたの周囲にいる若い人たちと分かち合うことを お勧めします。“励まし”と“霊的なリフレッシュ”の時間を過ごすために、これらを使って、20 代の若者たちを 毎週 Zoom で開催中の「YAD 弟子育成コール」に導いています。

今後とも変わらない祈りをお願いします。アミールが検疫期間を過ごす間も、どうぞ祈り続けてください。また、ズームで毎週行っている「オンライン・祈祷ミーティング」にご参加ください。神が 敵の計画を阻み、福音への道を開いてくださると祈りながら、その週のテーマと、ミニストリーの最新情報をお知らせします。もうひとつ、今後控えている、ブラジルと 南アフリカ「講演ツアー」のためにもお祈りください — 神が実現への道を開いてくださるよう。

最後に、皆さんと一緒に ユダの手紙 24～25 節の
頌栄で締めくくりたいと思います。

あなたがたを、つまづかないように守ることができ、傷のない者として、大きな喜びをもって栄光の御前に立たせることのできる方に、すなわち、私たちの救い主である唯一の神に、栄光、尊厳、支配、権威が、私たちの主イエス・キリストを通して、永遠の先にも、今も、また世々限りなくありますように。アーメン。

主の再臨を待ち望み、
マイク・ゴレイ、アミール・ツアルファティ

<https://mailchi.mp/beholdisrael/amirs-weekly-roundup-july-7-22-1006329>



Amir Tsarfati

[ウィークリー・ニュースレター]
ー 中東情勢とミニストリーのアップデート ー
2021年1月28日（日本時間 1/29 午前1時 配信）

<NEWS>

■イラクで、イランが主導する“新たな民兵組織”がリヤドを攻撃か

2021年1月27日

サウジの防空システムは、数日前リヤド上空で敵からの発射物を迎撃したが、飛翔体を発射した組織に関する情報は不明だった。フーシ派反乱軍は関与を否定した。

■ガザでハマスの所有の家屋が爆発、多数の負傷者が報告された

2021年1月26日、

報道によると、爆発は、ハマスの過激派がイスラエル攻撃用の爆薬を備える中で発生したものとされている。

■イスラエル政府、アラブ首長国連邦に大使館開設

2021年1月25日

「アブラハム合意」の具体的成果として、イスラエルは、アラブ首長国連邦（UAE）の首都アブダビに、ユダヤ人国家の大使館を公式に開設した。アラブ首長国連邦もまた、イスラエルのテルアビブに大使館開設を承認。

■IDF、レバノンからイスラエル領空に侵入したドローン撃墜

2021年1月23日

イスラエル国防軍（IDF）は金曜日、イスラエル領空に飛来した無人航空機（UAV）を撃墜した。この事案は、週初めにイスラエルがシリアで行った空爆に対するもの。

■イラン最高指導者のツイッター、ドナルド・トランプ前大統領への理不尽な殺害予告で停止

2021年1月22日

ツイッター社は、第45代米国大統領に殺害予告で脅迫したとして、イラン最高指導者のアカウントを数時間凍結した。

Behold Israel 英語版ニュースレターはこちらから登録できます。

<https://beholdisrael.org/>

Behold Israel 各動画の日本語版 文字起こし PDF

リンク先：DIVINE US, INC

<http://divineus.org/12499125071254012523124891245212473125211245612523.html>